

2025 年 10 月 6 日

校長 岡 利道

馬場のぶえ先生の講演会レポート



この写真は、馬場のぶえ先生の最新刊『ドタバタ アナウンサー 回顧録』（株式会社ザメディアジョン）のカバーと帯です。書店でもよく見かけますよね。

そのご本人の馬場のぶえ先生が、9月27日(土)にご来校の上、本校生徒に講演をしてくださいました。先生、ご多忙のところ、本当にありがとうございました！

皆さまの中には、「本校ホームページの同窓会ブログでも見た！」という方もいらっしゃると思います。そこからもわかりますように、本校同窓会である「清鈴会」が主催してくださいました。とりわけ会長の宮地真智子様にご尽力いただきました。同じく役員の妹

山ひとみ様も同様です。御礼申し上げます。

講演会の演題は、上掲のご著書ともかかわらせて、「新刊に込められた想い～「生涯しゃべり手」の夢に向かって～」でした。生徒は多くの貴重なメッセージをいただきました。ほんの一端ですが、ご紹介します。

生徒たちの可能性は無限大。将来を切り開いていくために、「ふだんからどんどん、こうしたらいんだよ」とお奨めされることは…。



夢を 口にする

青春時代の真ただ中にいる生徒たち。時には辛いこともありますよね。新しく何かを始める時に、尻込みしてしまうことだってあります。ネガティブになってしまいそうな時に、とにかく「何事も始めてみることだよ」と後押しを

してもらえ馬場先生の言葉は…。



始まりが半分



いつもの笑顔。すらりとしたお身体に、涼しげなお召しものでした。次から次へと楽しいお話が飛び出しました。モットーとされている「りきまず きどらず 自然体」そのものでした。生徒も大満足！

保護者の皆さま、地域の皆さまも多数お見えくださっていました。このご講演に元気をいただかれたのでしょうか。皆さまが笑顔で会場をあとにされていました。

※この記事、写真の掲載については、ご本人のご了解をいただいています

部活動 点描 ～アニメイラスト部～

文化系クラブが続きますが、今回はアニイラこと、アニメイラスト部さんです。顧問は、城根教諭です。部員は16名と、大所帯です。

本校ホームページの「文教ブログ」にも好評掲載中ですが、活動の成果を地域の多くの皆さまにも見ていただいているという話題です。

そもそもこのお話は、地元の「可部夢街道まちづくりの会」の方にお声がけいただき、JR可部駅にある掲示スペースの一つを、文教生の作品で飾らせていただくことになったことから始まります。現在そこに、アニメイラスト部による作品が展示されている、というわけです。

その作品は、「文教で活動しているクラブの特徴をとらえたイラストを、部員16名で分担し、全員で力を合わせて作る」というコンセプトです。

論より証拠。掲示スペースの様子を写真でご紹介します。



JR可部駅です。2番ホーム側から階段を上がっていくと…。



おっ、見えてきましたよ。「未来の芸術家」コーナーです。

皆さまも、是非実物をご覧ください。その作品を分解することになりますが、なるべく構成がよくわかるようにお示しします。

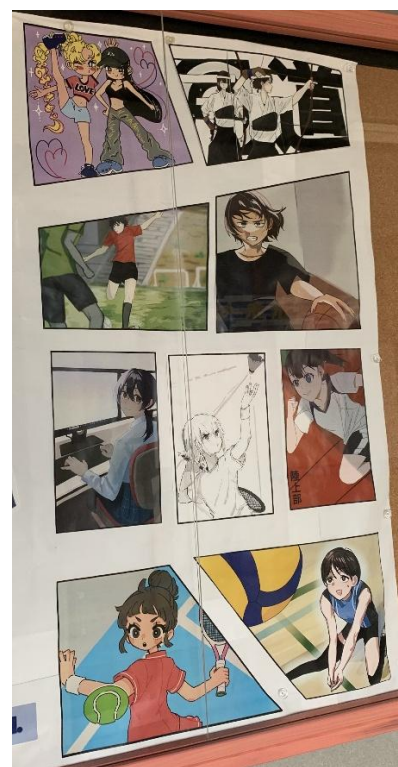


和太鼓部 吹奏楽部
放送部 書道部
科学部 アニメイラスト部 ESS
茶道部 琴部



軽音楽※

文教生
キャラクター



ダンス部 弓道部
サッカー部 バスケット部
PC部 バドミントン※ 陸上部
硬式テニス部 バレー部
(※同好会)

本物をご覧くださいますと、細やかなタッチまでよくわかります。アニメイラスト部さん、大作を掲げてもらいました。素晴らしいです。

今回は紹介しきれませんでしたが、活動時間を使って、部員のそれぞれが個性的なアニメイラストの作品を制作されています。城根教諭によれば、かなりユニークで精巧な作品が並ぶそうです。改めて城根教諭にインタビューしました。

岡：

可部駅の展示・文教祭の展示を終えた今、部員たちに贈るメッセージをぜひお願いします。

城根：

可部駅の件では、アニメイラスト部として初めて部員全員で協力をして1つの作品を作り上げる体験をさせていただきました。



イラストは1人でも描けます。にもかかわらず、皆さんはアニメイラスト部に入部をして、集団での活動を選びました。その選択が間違っていなかったと感じるような、実りある体験になったのではないのでしょうか。

来年度は2年生と1年生が中心となって文教祭を盛り上げます。

今回の経験を活かせるよう頑張っていきましょう。

今後の創作が楽しみでなりません。想像・創造の両翼で、大いに飛躍されるよう祈ります！